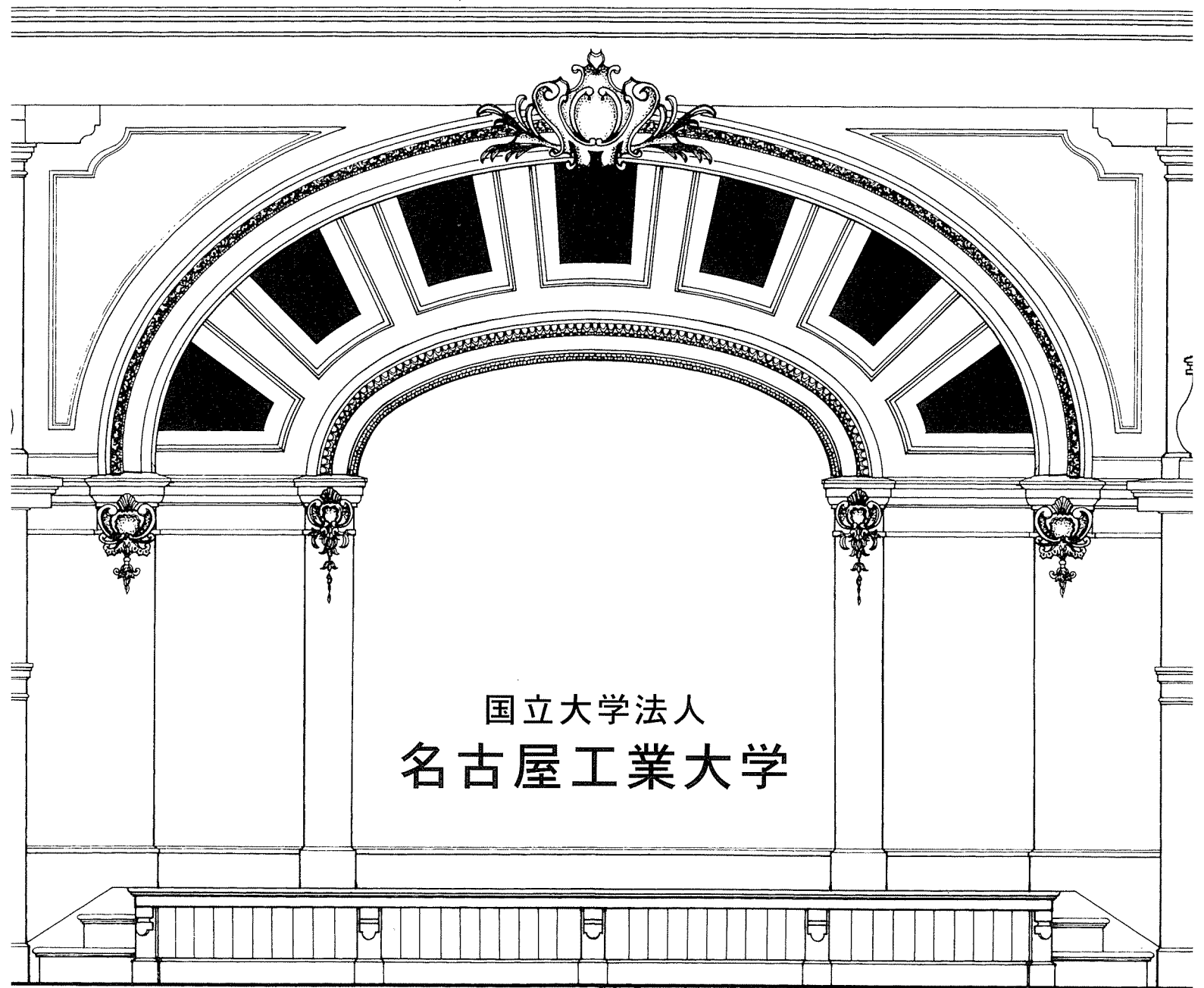


平成30年度
大学院工学研究科
(博士前期課程)
推薦入試
学生募集要項



国立大学法人
名古屋工業大学

目 次

平成 30 年度大学院工学研究科(博士前期課程)推薦入試学生募集要項

教育理念

アドミッション・ポリシー	1
カリキュラム・ポリシー	1
ディプロマ・ポリシー	2
1 募集専攻及び募集人員	3
2 推薦要件及び出願資格	3
3 出願期間	4
4 出願手続	4
5 受験票の交付	6
6 障害等のある入学志願者との事前相談	6
7 選抜方法	6
8 試験場	7
9 合格者発表及び入学手続	7
10 入学手続時に必要な経費	7
11 各専攻の研究分野	7
12 課程の修了の認定及び学位の授与	8
13 奨学金	8
14 安全保障輸出管理について	8
15 その他	8
検定料の払込方法	9

教育理念

名古屋工業大学では、『ものづくり』『ひとづくり』『未来づくり』を理念として、将来にわたって人類の幸福や国際社会の福祉を達成する方向を示し、同時にそれに対応できる人材を育成する。」ことを教育理念としています。

本学の卒業生は一人ひとりが国際社会の中で様々な人々・分野と協働し、持続的未來社会への責任を自覚し、実践の中で革新的な学術と技術を創造する能力を有する実践的工学エリートとして活躍することが期待されます。

アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

大学院博士前期課程

教育理念に従って人材を育成するため次を満たす学生を広く国内外から受け入れています。

大学院博士前期課程で学ぶ学生は学士の能力と工学の基礎知識・使命感をもち、本学の理念をよく理解し、工学の使命を果たす意欲をもつ人です。

- 1 学士課程を卒業するか、あるいはこれと同等の能力をもつ人
- 2 志望する専門分野等の工学の基礎知識とこれを活用して問題解決をする能力をもつ人
- 3 他者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力をもち、英語においては講義や教科書の理解、他者との意見交換をすることのできる能力をもつ人
- 4 未来の工学を先導することに強い意欲をもつ人

カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

大学院博士前期課程

教育理念に従って人材を育成するため、以下の観点から、教育課程を編成しています。

大学院博士前期課程は、学士の能力と工学の基礎知識・使命感の上に、高度な専門知識を身につけると同時に研究に取り組み、未来社会をつくりだす人材を育成します。

- 1 人間、文化、社会の課題を技術的観点から理解・考察する能力を身につける。
そのため、共通科目において人間、文化、社会の諸問題や工学を俯瞰的に学ぶ科目、また技術を産業や社会に結びつける科目を学習させる。
- 2 専門的課題・技術に関し、国内外の研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力を身につける。

そのため、専門分野のセミナー、国内外での研究インターンシップ、企業実務者による講義、外国人研究者を含む英語による授業によって広い視野と高いコミュニケーション力を身につけさせる。

- 3 基幹となる専門分野の高度な知識・技術と、専門的課題を発見し、専門性の深化によってこれを解決する能力を身につける。

そのため、高度な専門知識・技術を身につける授業と、修士研究において専門分野の新規で有用な研究に取り組ませる。

ディプロマ・ポリシー（修了認定・学位授与の方針）

大学院博士前期課程

大学院博士前期課程は、教育理念に従って次の高度な専門知識及び能力を有する、新たな技術創出のための技術者を輩出します。

名古屋工業大学大学院規則で定める修了要件を満たした学生に修士の学位を授与します。

- 1 人間、文化、社会の課題を技術的観点から理解・考察する能力
- 2 専門的課題・技術に関し、国内外の研究者・技術者と意見を交わすことのできるコミュニケーション力
- 3 基幹となる専門分野の高度な知識・技術と、専門的課題を発見し、専門性の深化によってこれを解決する能力

平成30年度 大学院工学研究科（博士前期課程）推薦入試学生募集要項

近年の科学技術の高度化・専門化に伴い、産業や学術の分野において活躍できる優れた技術と知識を持った人材の育成が求められています。このような社会的要請に応えるために、本学大学院では創造性・独創性を持つ優秀な学生の大学院への進学を奨励し、かつ、受入を早期決定することにより、卒業研究等の大学院準備教育に専心させることを目的として、推薦入試を実施します。

1 募集専攻及び募集人員

募集専攻	募集人員	
	A 推薦	B 推薦
生命・応用化学専攻	58 名	若干名
物理工学専攻	28 名	若干名
電気・機械工学専攻	54 名	若干名
情報工学専攻	35 名	若干名
社会工学専攻	38 名	若干名

注1：A推薦（大学等の推薦）、B推薦（自己推薦）

2：社会工学専攻は、一般在学コース（修業年限2年）のみ実施します。

2 推薦要件及び出願資格

(1) 推薦要件

- A推薦及びB推薦で合格した場合は、必ず本学に入学を確約できる者
- A推薦（大学等の推薦）
成績が優秀であり、かつ大学等の学長、学部長及び学科長等（役職者）から推薦を得られる者で卒業見込みのもの（取得見込み、修了見込みを含む。）
- B推薦（自己推薦）
研究分野に関する基礎的な学力を備えているとともに、研究意欲が旺盛で研究に対する明確な目標を持つ者

(2) 出願資格

前項の推薦要件を満たす者で次のいずれかに該当する者

- ① 大学を卒業した者及び平成30年3月31日までに卒業見込みの者
- ② 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び学士の学位を平成30年3月31日までに取得見込みの者
- ③ 外国において学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- ④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者

- ⑤ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成30年3月31日までに修了見込みの者
- ⑥ 外国の大学その他の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により学士の学位に相当する学位を授与された者及び平成30年3月31日までに取得見込みの者

3 出 願 期 間

平成29年5月8日(月)～5月11日(木)

出願書類等の受付時間は、9：00から16：00までとします。郵送出願の場合は、書留速達郵便で5月11日(木)16：00必着とします。

4 出 願 手 続

(1) 出願書類等の提出

入学志願者は、次の書類等を取りそろえ、所定の期日までに本学入試室に提出してください。

出願にあたっては、あらかじめ指導を希望する教員と研究内容や出願について相談してください。

郵送出願する場合は、書留速達郵便とし、封筒の表面には、「大学院（博士前期課程）推薦入試願書在中」と朱書きしてください。

(2) 出願書類等

出 願 書 類		注 意 事 項
①	入学願書・受験票・写真票 (本学所定の用紙)	写真票には、正面、上半身、無帽のもので、出願前3か月以内に撮影した縦4cm、横3cmの写真を全面のり付けしてください。
②	推薦書（本学所定の用紙）	A推薦で出願する者のみ提出してください。 推薦者は大学等の学長、学部長及び学科長等の役職者に限ります。
③	自己推薦書 (本学所定の用紙)	B推薦で出願する者のみ提出してください。
④	志望理由書 (本学所定の用紙)	各項目について記述してください。

⑤	成績証明書 (コピー不可)	出身大学が作成した成績証明書を提出してください。 日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。 高等専門学校専攻科在籍者及び修了者は、本科及び専攻科の成績証明書を提出してください。
⑥	卒業(見込)証明書 (コピー不可)	出身大学が作成した卒業(見込)証明書を提出してください。 日本語・英語以外で書かれたものは、日本語又は英語の訳文を添付してください。
⑦	検定料	30,000円 検定料は、9ページの「検定料の払込方法」を参照の上、ゆうちょ銀行・郵便局の窓口又は、コンビニエンスストアで払い込んでください。
⑧	受験票送付用封筒 (郵送出願する者のみ)	市販の封筒(長形3号, 23.5cm×12cm)に、郵便番号、受信場所、氏名を記入し、郵便切手(362円)を貼付してください。
⑨	連絡用シール (本学所定の用紙)	入学願書に記載した「受信場所」と同一の住所を記入してください。
⑩	その他	ア 外国人は、 <u>在留資格及び在留期間</u> が記載された住民票の写しを提出してください。 イ 出願資格②「学位を授与された者」により出願する者は、大学改革支援・学位授与機構が発行する学士の学位授与証明書を提出してください。 ウ 出願資格②「学位を取得見込みの者」により出願する者は、次の書類を提出してください。 (ア) 在籍する短期大学の専攻科又は高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 (イ) 在籍する短期大学長又は高等専門学校長が発行した、学士の学位授与を申請する予定である旨の証明書

(3) 注意事項

- ① 記入にあたっては、各票とも黒インク又はボールペン(消せる筆記具は不可)を使用し、かい書で明瞭に記入してください。記入ミスをした場合は、ミスをした箇所に二重線を引き、余白に正しく記入してください(訂正印は不要です)。
- ② 出願書類等の不備なものは、受理しません。
- ③ 提出後、出願書類等の返還及び記入事項の変更は、認めません。
- ④ 既納の検定料は、返還しません。
- ⑤ 出願書類等に虚偽の事項を記入したことが判明した場合は、入学後でも入学を取り消すことがあります。
- ⑥ 本選抜において不合格になった者は、「一般入試」に出願することができます。
- ⑦ 「一般入試」に出願を希望する者は、「平成30年度大学院工学研究科(博士前期課程)学生募集要項」により改めて出願手続きをしてください。
- ⑧ 本学入学者選抜に用いた個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」に基づいて、次のとおり取り扱います。
ア 今後の入学者選抜に係る調査・研究のために利用します。

イ 入学者選抜及び上記アの利用に当たっては、守秘義務等を締結した業者（以下「業者」という。）の一部を委託する場合があります。

この場合、この業者に対して委託した業務の範囲内で、個人情報を提供します。

ウ 入学者については、入学者選抜に用いた出願書類等や個人情報を、学籍などの教務関係、修学指導関係及び学生支援関係に関する業務を行うため利用します。

5 受験票の交付

出願書類等を持参した者には、その場で交付します。また、郵送出願した者には、郵送します。

6 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、学校教育法施行令第22条の3に定める障害のあるもの又はその他の障害等があるもののうち、受験上及び修学上の配慮を必要とするものは、出願の前に、下記により相談してください。

(1) 相談の時期及び方法

平成29年4月24日(月)までに相談する内容を文書又は電話等で連絡してください。必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

(2) 連絡先

8ページの「15 その他」の照会先をお願いします。

7 選 抜 方 法

入学者の選抜は、口述試験、推薦書、成績証明書及び志望理由書を総合して判定します。

なお、希望分野、希望教員は、面接等で再度確認しますが、第1希望とならないことがあります。

口述試験

平成29年7月3日(月) 10:00～

試験内容は、以下のとおりです。

- A推薦（大学等の推薦）で受験する者は、卒業研究の進行状況について5分以内のプレゼンテーションを行っていただきます。
- B推薦（自己推薦）で受験する者は、将来行ってみたい研究について5分以内のプレゼンテーションを行っていただきます。

プレゼンテーションは、プロジェクターを利用することができます。その後、発表の内容、専門分野の基礎知識に関して質問をします。また併せて、人物、研究意欲、適性等についての面接を行います。

8 試 験 場

名古屋工業大学

口述試験場所の詳細は、当日、2号館前に掲示します。

9 合格者発表及び入学手続

- (1) 平成29年7月14日(金)10:00に、本学ホームページ (<http://www.nitech.ac.jp/>) 上に合格者の受験番号を掲載するとともに、合格者に合格通知書を送付します。

なお、電話による問い合わせには一切応じません。

また、受験票は入学手続時に必要なため、それまで必ず保管してください。

- (2) 合格者(又は代理人)は、次の日時に入学手続を行ってください。入学手続日時までに入学手続を行わない場合は、入学を辞退したものと取り扱います。

なお、平成29年11月下旬に送付する「入学手続要領」に基づき、郵送による入学手続を認めます。入学手続に必要な書類等は「入学手続要領」に同封します。

入学手続日時	入学手続会場
平成29年12月18日(月)9:00～16:00	名古屋工業大学

10 入学手続時に必要な経費

入 学 料	282,000 円 (予定額)
授 業 料	年額 535,800 円 (予定額) $\left\{ \begin{array}{l} \text{前期分} \quad 267,900 \text{ 円} \\ \text{後期分} \quad 267,900 \text{ 円} \end{array} \right.$

注1：入学料及び授業料については、入学時及び在学中に改定が行われた場合には、新入学料及び新授業料が適用されます。

2：授業料は、希望により前期分を納入の際に後期分も併せて納入できる制度があります。

3：授業料(前期分)を入学手続時に納入しない場合は、平成30年4月2日(月)から4月27日(金)までに納入してください。

4：既納の入学料及び授業料は、返還しません。ただし、授業料については、入学手続完了者が、平成30年3月31日(土)までに入学を辞退した場合には、納入した者の申出により当該授業料相当額は後日返還します。

5：入学料及び授業料については、徴収猶予又は免除する制度があります。

11 各専攻の研究分野

入学願書の中の志望専攻名、分野名及び教員名の記入に当たっては、別冊「大学院工学研究科(博士前期課程)担当教員一覧」を参照してください。

12 課程の修了の認定及び学位の授与

本学大学院に2年以上在学し、各専攻所定の授業科目を30単位以上修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、大学院の行う修士論文の審査及び最終試験に合格した者に、修士（工学、学術）の学位を授与します。

13 奨 学 金

日本学生支援機構奨学金の貸与を希望する者には、選考の上、奨学金が貸与されます。

14 安全保障輸出管理について

名古屋工業大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づき、「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」を定め、外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は、希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので、注意してください。

〔参考〕「名古屋工業大学安全保障輸出管理規程」

<http://kisoku.web.nitech.ac.jp/houki/204042.htm>

経済産業省「安全保障貿易管理」

<http://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html>

15 そ の 他

この学生募集要項に関する照会は、Eメール又は電話等で行ってください。

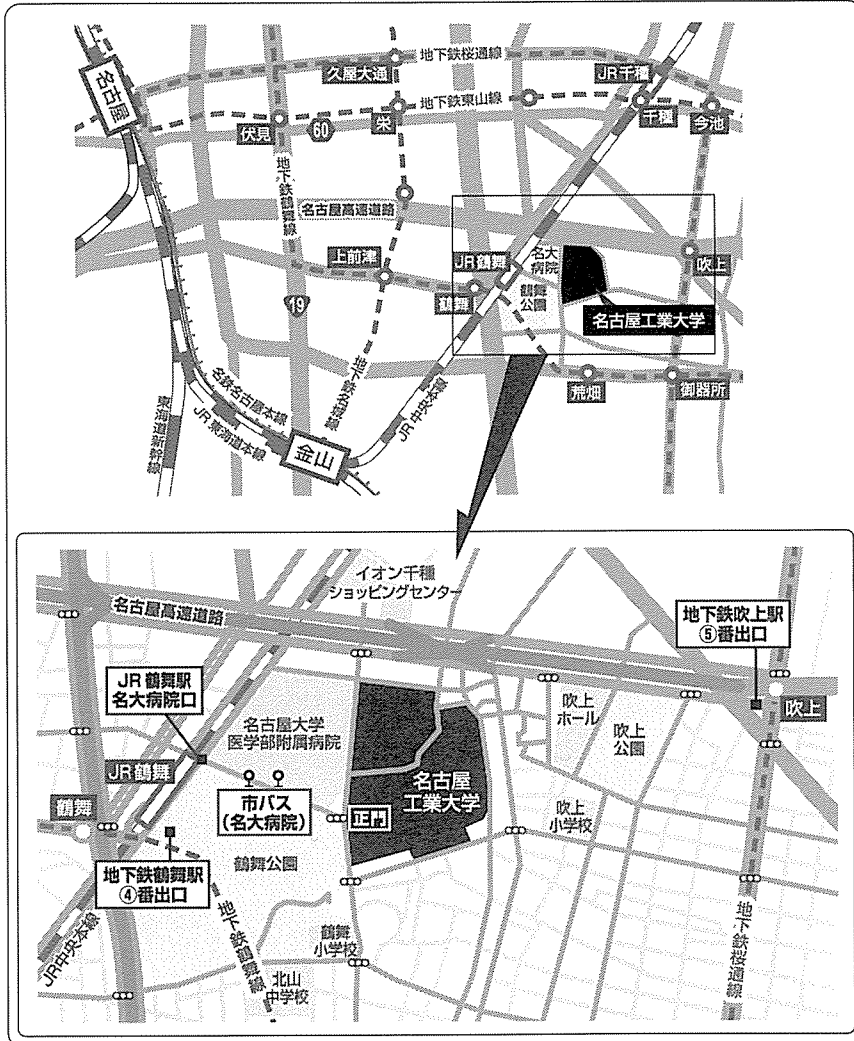
〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町^{ごきそちょう}
名古屋工業大学 入試室
電 話 052 (735) 5083
F A X 052 (735) 5084
Eメール nit.nyushi@adm.nitech.ac.jp

本学への交通案内

J R 東海	中央本線	鶴舞駅下車(名大病院口から東へ約400m)
地下鉄	鶴舞線(上小田井 ←→ 赤池)	鶴舞駅下車(4番出口から東へ約500m)
	桜通線(中村区役所 ←→ 徳重)	吹上駅下車(5番出口から西へ約900m)
市バス	⑬18 (栄 ←→ 妙見町)	名大病院下車(東へ約200m)

注1：⑬18は、市バスの系統番号

注2：バスの運行時間は、交通渋滞により大幅に遅れる可能性があるので注意してください。



名古屋工業大学入試室

ごきそちよう
 名古屋市昭和区御器所町 (〒466-8555)
 電話 052(735)5083
 ホームページアドレス <http://www.nitech.ac.jp>

表紙：本学創設の明治38年(1905年)当時に建設された講堂内部正面図面